

## 「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2017」を 開催しました。

「平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞」の第3回受賞を記念して、奈良県と東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）の共催により、下記のとおり、授賞式およびフォーラムを開催しました。

### 記

日 時：平成29年1月15日（日）  
授賞式 13：30～14：40  
フォーラム 14：50～17：20

場 所：奈良春日野国際フォーラム 薨 ～I・RA・KA～

参加者：約350人

受賞者（下記）、選考委員（荒井知事、西村ERIA事務総長 他）  
来賓、一般応募者 など

受賞者：「大賞」 テイン・セイン氏（前ミャンマー連邦共和国大統領）  
「経済・社会科学賞」 藤田昌久氏（甲南大学特別客員教授）  
「文化賞」 ヘルマン・ファン＝ロンパイ氏（日EU俳句交流大使）

内 容：吉川元偉氏（前国連日本代表部特命全権大使）による基調講演  
各受賞者による記念講演 など

※この賞は、東アジアにおけるコスモポリタン都市の先がけであった奈良・平城京への遷都1300年を記念し創設された国際賞で、東アジア域内における経済面・文化面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長に優れた活動を行った個人・団体に対し、2年に一度、ERIAが授賞します。



## (各賞受賞者のコメント)

### ◆「大賞」受賞者: ティン・セイン氏(前ミャンマー連邦共和国大統領)



この賞を受賞することを大変光栄に思い、皆様に心から感謝の意を表したい。2011年から2016年にかけてミャンマー連邦共和国大統領としての在任中、私は自分の国を近代的かつ平和な民主主義国家に導き、国民の社会経済発展を促進し、若い世代のより良い未来のための基盤を築くことに最善を尽くしてきた。これらが評価されての本受賞との認識であるが、これは私個人の力ではなく、政府の役人および国民による集団的貢献の結果である。ERIAの普段の努力はアジア・アセアン各国が認識しているが、今後の地域の平和・安定に向けて更なる貢献を続けてくれることを期待している。

### ◆「経済・社会科学賞」受賞者: 藤田昌久氏(甲南大学特別客員教授)



今回の受賞は「空間経済学」を専門とする私にとり、誠に光栄だ。空間経済学の理論は、ヨーロッパ統合のみならず、北米地域統合や東アジア地域統合を推進するための実証分析や政策研究の基盤として用いられてきている。現在、急速なグローバル化とともに成長してきた世界経済は、新たな試練に直面している。特に、多くの先進国内において所得格差が拡大する一方、成長から取り残された多数の国々や地域において、民族や文化的要因を含む深刻な社会問題が引き起こされている。今回の受賞を契機として、より包摂的で均衡のとれた世界経済社会の発展に向けて、従来の空間経済学を民族・文化・文明の観点も取り入れながら、一層発展させていく所存である。

### ◆「文化賞」受賞者: ヘルマン・ファン=ロンパイ氏(日EU俳句交流大使)



今回の受賞は大変な光栄だ。今回の私の受賞は、東アジア地域と欧州連合の関係が大変強く結びついていることを強調している。私たちの関係は経済的なものばかりでなく、人間の価値観を共有して構築されている。文化は永続的な関係のためのより強固な基盤である。俳句は私たち人々の間をつなぐ個性があり、調和の希求に深く根付いている。今日の世界では、「真実、善、美」が必要であり、また「夢」が必要だ。しかし、成熟した経済においては絶望感と不幸福感が支配的な感情であり、この非合理性は危険になることさえある。夢はそうした世界における対抗策である。俳句は夢、希望、調和を育むのに多いに役立つ。